

【瀬戸内町立諸鈍中学校】

勤務校での仕事の様子や魅力について

諸鈍中学校は、小中併設校であり、小学校は複式学級、中学校は各学年単学級で授業を行っています。校区内で幼少期から過ごしている児童生徒に加え、加計呂麻留学生制度を利用して家族で移住してきた児童生徒も半数ほど在籍しています。加計呂麻島の東側に位置し、近くの海で行う水泳学習や海岸線を走るロードレースなど豊かな自然に恵まれた教育活動を行っています。また、諸鈍シバヤ(大屯神社祭)を始め、豊年祭、八月踊り、島唄など、地域の伝統芸能の継承にも力を入れています。



離島での生活の様子や魅力について

鹿児島新港からフェリーで荷物と車を輸送、自身は航空機で移動し、名瀬港で車を受け取り移動してきました。荷物と同じ船で移動してくる方も多いです。古仁屋港から生間港に渡るための船舶の予約も必要です。学校の近くには教職員住宅があるため、通勤の利便性を考えるとお勧めです。住宅によっては、前の住人(教員)と話して電化製品などを譲り受ける方もいます。周りはのどかな奄美の自然が広がっており、お散歩を楽しむこともできます。(ハブには注意！)



小さな商店で日用品やお菓子、飲み物、たばこ等は購入できます。お店での、地域の方との交流も楽しいです。週末や出張時などに、古仁屋で一週間分をまとめて買い物することが多いです。とにかく海が美しく、泳いだり釣りをしたりして楽しむことができるなど、家の近くの海を満喫できます。また、夜の光が少ないため、どこまでも広がる星空を堪能できます。まさに、田中一村の絵画の世界です。休日は、古仁屋や名瀬の市街地に行くこともありますが、奄美の多くの観光地を巡ることも可能です。有料放送に加入すれば、自宅で映画やライブを楽しむこともできます。インドア派でも不都合は感じません。船舶を利用して、鹿児島市などに週末行くことも可能です。

これから離島に赴任する方へのメッセージ

離島での生活には不便な点もありますが、自分次第で好奇心を満たしてくれる環境もあります。児童生徒との授業や学校生活では、自分の特性を生かしたさまざまな工夫を取り入れることも可能です。個別最適な学習が求められることで、授業の幅も広がります。お待ちしています。